

76億の目撃者たち

# 世界報道写真展

## 2019



環境の部 単写真1位 プレント・スタートン(南アフリカ、ゲッティイメージズ)  
ジンバブエのフンドロッドゥ野生動物公園で、女性メンバーだけで構成される反密猟武装部隊「アカシंगा」の偽装・隠蔽対策訓練に参加するベトロネラ・チグムブラ(30)。

滋賀

9.23月・祝 - 10.5土

会期中無休

立命館大学びわこ・くさつキャンパス

エポック立命21 エポックホール

開館時間 9:30~16:30(入館は16:00まで)

京都

10.7月 - 10.31木

休館日 10月13日(日)・15日(火)・20日(日)・23日(水)・27日(日)

立命館大学衣笠キャンパス

国際平和ミュージアム 中野記念ホール

開館時間 9:30~16:30(入館は16:00まで)

■参観料: 大人500円、中・高生300円、小学生200円 ■主催: 立命館大学国際平和ミュージアム、朝日新聞社、世界報道写真財団 ■後援: オランダ王国大使館、公益社団法人日本写真協会、公益社団法人日本写真家協会、全日本写真連盟、京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都市内博物館施設連絡協議会、NHK 京都放送局(衣笠キャンパス開催分)、KBS京都、滋賀県、大津市、草津市、滋賀県教育委員会、大津市教育委員会、草津市教育委員会、NHK 大津放送局(びわこ・くさつキャンパス開催分)、びわ湖放送株式会社 ■協賛: キヤノンマーケティングジャパン株式会社、ゲッティイメージズジャパン株式会社 ■協力: 特定非営利活動法人 国境なき医師団日本

■お問い合わせ: 立命館大学国際平和ミュージアム 京都市北区等持院北町56-1 TEL.075-465-8151 FAX.075-465-7899 <https://www.ritsumeikan-wp-museum.jp/> 公式Twitter 国際平和ミュージアム(@kmwp\_PR)

■公式サイト <http://www.asahi.com/event/wpph/> [世界報道写真展 2019](#) [公式Twitter 世界報道写真展 \(@wppjapan\)](#)



Canon  
キヤノンマーケティングジャパン株式会社



世界報道写真財団の  
ワールドサポーターは  
ワゴンが郵便番号までです。

# 世界報道写真展 2019

76億の目撃者たち

世界報道写真コンテストの受賞作を紹介する「世界報道写真展2019」。62回目を迎える今回のコンテストには、129の国と地域から4,738人のフォトグラファーが参加し、78,801点の応募がありました。

今年は、「現代社会の問題」、「一般ニュース」、「長期取材」、「自然」、「環境」、「スポーツ」、

「スポットニュース」、そして昨年の「人々」にかわり「ポートレート」の部の8部門において、25カ国43人が受賞しました。また新たに、複数の写真で様々な事象を表現した作品を評価する「世界報道写真ストーリー大賞」が設けられ、報道写真の表現が広がりを見せています。

「スポットニュース」の部では、ジョン・ムーアがメキシコとアメリカの国境で、母親の取り調べ中に泣き叫ぶホンジュラスの少女を捉えました。また「一般ニュース」の部では、サウジアラビアのカショギ記者が行方不明になった事件で、サウジの総領事館に押し寄せる報道陣の姿を写しています。ほかにも、シリアで続く内戦やコロンビア革命軍の元女性兵士の暮らし、オランダ領キュラソーのベニイロフラミンゴを捉えた作品など、地球上で「いま」起きていることを伝える写真の数々を紹介します。



- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ①

① 世界報道写真大賞 スポットニュースの部 単写真1位

ジョン・ムーア (アメリカ、Getty Images)  
2018年6月12日、メキシコとの国境沿いにあるアメリカ・テキサス州マックレンで、ホンジュラスからともに来た母親のサンドラ・サンチェスが国境監視員の取り調べを受けている間、泣き叫ぶヤネラ。

② 現代社会の問題の部 組写真2位

カタリナ・マーティン・チコ (フランス/スペイン、ハノス)  
ヨルラデイスは、コロンビア革命軍(FARC)に加わっていた間の5回に及ぶ堕胎を経て、6回目の妊娠を果たした。5回目の妊娠の時は、緩めの衣服を着て妊娠6か月になるまで指揮官に知られないようにしていたという。

③ スポットニュースの部 組写真2位

モハメド・バドラ (シリア、EPA通信)  
2018年2月25日、毒ガス使用が疑われるシフォニエの村への攻撃で負傷し、治療を受ける人々。

④ 自然の部 単写真2位

ヤスパー・ドゥースト (オランダ)  
オランダ領キュラソーのFDOC(カリブ動物と教育財団)で、足の重度の障害を治すのに役立つ急ごしらえの靴下を履き、確認しているベニイロフラミンゴ。

⑤ スポーツの部 組写真2位

マイケル・ハンク (チェコ)  
チェコ共和国のバラアイスホッケー代表チームのキャプテンで、これまでパラリンピックに3大会出場しているズデニェク・サフラネクが、シムで懸垂している。

⑥ 世界報道写真ストーリー大賞 スポットニュースの部 組写真1位

ピーター・テン・ホーベン (オランダ/スウェーデン、アジャンス・ヴウ/シビリアン・アクト)  
2018年10月30日メキシコ南部のタ(ナテベク郊外で、移民を載せるために停車したトラックに駆け寄る人々。途中までの乗車に代金を請求する運転手も中にはいたが、大半は支援の印として無償で乗せた。

A  
C  
C  
E  
S  
S

滋賀

JR「南草津駅」より近江鉄道バス「立命館大学行き」または「立命館大学経由飛鳥(とびしま)グリーンヒル行き」にて「立命館大学」下車。

京都

JR・近鉄「京都駅」よりJRバス、市バス50にて「立命館大学前」下車。徒歩5分阪急電車「西院駅」より市バス205にて「わら天神前」下車。徒歩10分。  
※お車でのご来館はご遠慮ください。

## 渋谷敦志氏 X 国境なき医師団

～人道危機の現場で、人々に寄り添うこと～

2019年 10月14日(月)・(祝) 14:30～15:30

■会場：立命館大学衣笠キャンパス (京都)  
国際平和ミュージアム1階ロビー

■予約不要 聴講無料 (定員100名)

国際的な医療人道援助団体の国境なき医師団が、世界各地の現場取材を続けるフォトグラファー・渋谷敦志氏を迎え、海外派遣スタッフとともにスライド・トークを開催します。

主催：立命館大学国際平和ミュージアム、朝日新聞社、国境なき医師団日本支部

※お問い合わせ：立命館大学国際平和ミュージアム TEL:075-465-8151